

- 重症心身障害児者及びその家族が地域で安心・安全に生活できるようにするため、医療型障害児入所施設等を中核として関係する分野との協働による支援体制を構築すること等による総合的な地域生活支援の実現を目指し、モデル事業を実施。
- 平成24年度から平成26年度に採択された14団体が取り組んだ実例の報告をもとに、**重症心身障害児者の地域生活を支援する体制をつくる上で特に留意すべき点**をまとめると以下の通りである。

## 現状等の共有

## 幅広い分野にわたる協働体制の構築

## 具体的な支援の取組: 好事例集

### ① 地域の現状と課題の把握

- ・地域の重症心身障害児者の実情を把握
- ・利用できる地域資源の把握
- ・地域の資源マップの作成
- 課題の明確化



#### 〈平成24年度〉

- ・北海道療育園
- ・下志津病院
- ・全国重症心身障害児(者)を守る会
- ・甲山福祉センター
- ・久留米市介護福祉サービス事業者協議会

#### 〈平成25年度〉

- ・北海道療育園
- ・びわこ学園障害者支援センター
- ・大阪発達総合療育センターフェニックス
- ・重症児・者福祉医療施設 鈴が峰
- ・南愛媛療育センター

### ② 協議の場の設定

- ・目的に沿って有効な支援を図ることができる構成員を選定(当事者、行政、医療、福祉、教育等関係機関等)
- ・検討内容は、実情把握、地域資源の評価、必要な支援体制の構築、運営、評価、改善
- ・多様な形態(障害者総合支援法に基づく協議会の専門部会、ショートステイ連絡協議等)

### ③ コーディネートする者の配置

- ・福祉と医療に知見のある者を配置(相談支援専門員と看護師がペアを組む、相談支援専門員に看護師を置く等)

### ④ 協働体制を強化する工夫

- ・支援の届かない地域の施設等との相互交換研修や出前研修の実施(実技研修が有効)
- ・地域の相談支援事業所の後方支援(相談支援専門員等に向けたセミナーの開催、調査等)

### ⑤ 地域住民への啓発

- ・重症心身障害児者の生活を知ってもらうために、講演会やドキュメンタリー映画の上映会の開催
- ・重症心身障害児者や家族のエンパワメントを視野に入れたイベントの開催

### ⑥ 重症心身障害児者や家族等に対する支援

- ・「アセスメント」「計画支援」「モニタリング」 ★ツール1
- ・保護者の学びの場の提供(家族介護教室等)
- ・重症心身障害児者のきょうだい支援(きょうだいキャンプ)
- ・家族のレスパイト支援(ショートステイ)
- ・重症心身障害児者のケアホーム利用
- ・地域の既存資源の再資源化
- ・中山間地域の支援(ICTの活用、巡回相談)
- ・ライフステージに応じた支援 ★ツール2
- ・病院からの退院支援 ★ツール3
- 〈退院後の生活に関する病院と家族の意識の違いを埋める〉
- ・病院退院後のニーズと支援(退院後の訪問看護等ニーズに対応)
- ・医療機関に対する医療型短期入所の新規開設支援
- ・併行保育に向けた支援 ★ツール4

#### 支援ツールの例

- ★1 『重症心身障害児者のアセスメントシート』
- ★2 『重症心身障害児者のライフサイクル別検討シート』
- ★3 『NICUから地域移行に向けての支援ガイド』
- ★4 『重症心身障害児の並行保育に向けたガイドライン』
- (★1～3は平成24年度、★4は平成26年度の報告書に掲載)

#### 〈平成26年度〉

- ・ 南京都病院
- ・ あきやまケアルーム
- ・ 長良医療センター
- ・ 浜松市発達医療総合福祉センター
- ・ あすか山訪問看護ステーション